

事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	H30～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○環境農業については「エコファーマー認定」や「信州の環境にやさしい農産物認証」などによる環境負荷低減の取組が拡大しているが面的・組織的な広がりには至っていない ○GAPへの理解醸成や国際水準GAPの取組が進まず、GAPを求めるマーケット需要への対応が遅れている ○新たな病害虫の発生や薬剤抵抗性を有する病害虫の増加等に対し、的確な情報発信と防除指導が求められている ○農薬適正使用を推進しているが、残留基準値超過や飛散等の事案が発生しており、一層の農薬安全使用の指導が必要である	30年度 決算額	242,313 千円
目指す姿	○GAPの取組を基礎に、食品の安全確保や環境保全の取組が盛んに行われ、環境と調和した農業が広く展開される ○環境農業技術の導入が進み、地域ぐるみの環境農業の取組が進められ、自然環境への負荷の少ない農業が営まれる ○環境農業が環境保全や食品安全に寄与していることが消費者に評価され、環境農業で生産された農産物が消費者に選択される ○全ての農業者が農畜産物の安全性確保に対する高い意識を持ち、農薬の適正使用など、適正な農業生産活動(GAP)が行われている (主な実施内容:よりレベルの高いGAPの取組を拡大、環境保全型農業直接支払の取組の拡大)	職員数	18.50 人

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況					
	前年度繰越	29年度	30年度	令和元年度	No	成果指標	29年度	30年度		
予算額	当初予算	72,120	245,723	122,167				目標値	成果	達成状況
	補正予算	-18,045	-32,715							
	合計(A)	54,075	224,834	122,167	①	国際水準GAPの取得件数	15	26	28	達成
	一般財源	20,418	22,529	22,765						
Aの 財源	県債				②	化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積	553ha	588ha	602ha	達成
	国庫支出金	33,575	202,223	99,317						
	その他	82	82	85	③					
	決算額(B)	56,655	242,313							
概算 人件 費	職員数(人)	18.50	18.50	18.50	④					
	概算人件費(C)	149,887	152,033	152,033						
	概算事業費(B(A)+C)	206,542	394,346	274,200						
備考					成果指標 設定理由	①国際水準GAPを取得したトップランナーの増加から、普及状況が評価できるため ②化学肥料や化学合成農薬に依存しすぎない環境と調和した”環境農業”の普及状況が評価できるため				

目標に対する 成果の状況	①国際水準GAPの取得件数は、東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供意欲の高まりやJAグループの組織を挙げた普及推進により、目標を上回った。 ②化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積は、食の安全・安心や環境保全に対する意識の高まりや、環境にやさしい農業技術の普及推進により、目標を上回った。
-----------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	生産者のGAP及び環境にやさしい農業への関心や取組意欲は高まりつつあるが、組織的な取組が遅れている。また、消費者の認知度も不十分な状況にある。	東京オリンピック・パラリンピックや輸出拡大に向け、GAP認証の取得を促進するとともに、環境にやさしい農業の取組拡大及び認知度の向上に取り組む。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		GAP・環境農業総合対策事業	環境にやさしい農業の面的拡大、GAPの推進、有機農業の推進及び肥料登録事務	5.00	44,212	11,735	19,809
2		環境保全型農業直接支払事業	化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した上で地球温暖化防止、生物多様性保全の取組への交付金	1.50	32,200	27,429	36,200
3		植物防疫事業	病害虫の発生予察及び適正防除の推進	10.00	167,261	201,160	64,093
4		農薬安全使用対策事業	農薬安全使用の推進及び適正使用のための農薬登録推進	2.00	2,050	1,989	2,065
合計				18.50	245,723	242,313	122,167

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	環境にやさしい農業推進事業				部局	農政部	課・室	農業技術課		
09 03 02											
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度			
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）
1	GAP・環境農業総合対策事業	環境農業の推進	直接	・環境にやさしい農業の普及 ・環境にやさしい農業の面的拡大 ・IPMの推進	・実証ほの設置（9カ所） ・研修会の開催（2回） ・IPM実践指標18品目	計画通り ○	4,423	5,117	4,018		2,700
1	GAP・環境農業総合対策事業	GAPの推進	直接	・研修会の開催等 ・GAPを活用した農業経営体トップランナーの育成	・JGAP指導員基礎研修、GAP指導員スキルアップ研修の実施	計画通り ○	4,517	39,750	39,750	-30,000	8,728
1	GAP・環境農業総合対策事業	有機農業参入・実践支援	直接	・技術支援、相談活動の実施 ・有機農産物PR事業	・研修会の開催（16講） ・消費者等への理解促進イベント（2回）	計画通り ○	428	362	362		177
1	GAP・環境農業総合対策事業	肥料登録・更新	直接	・新規登録、有効期間更新	・有効期間更新1回	計画通り ○	82	82	82		130
2	環境保全型農業直接支払事業	環境保全型農業直接支払交付金	交付金	・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した上で地球温暖化防止、生物多様性保全の取組への交付金	・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した上で地球温暖化防止、生物多様性保全の取組（91件、602ha）に対する交付金	計画通り ○	42,000	42,000	31,000	-2,180	26,968
2	環境保全型農業直接支払事業	環境保全型農業直接支払推進交付金	交付金	・推進活動等事務経費への交付金（市町村）	・2市町村における推進活動等事務経費に対して交付	計画通り ○	1,200	600	600	-535	65
2	環境保全型農業直接支払事業	環境保全型農業直接支払推進交付金	交付金	・推進活動等事務経費への交付金（県）	・農業技術課並びに5地域振興局における推進活動等に係る事務経費交付	計画通り ○	600	600	600		396
3	植物防疫事業	病害虫発生予察の推進	直接	・病害虫発生予察ほ場との設置及び調査	・病害虫発生予察ほ場等の設置及び調査（45カ所）	計画通り ○	6,619	8,568	8,568		7,534
3	植物防疫事業	植物防疫総合情報ネットワークへの加入	直接	・日本植物防疫協会が提供する農業登録情報等の検索システムへの加入	・日本植物防疫協会が提供する農業登録情報等の検索システムに加入し、最新の農業登録情報による防除指導を実施。	計画通り ○	389	389	389		389
3	植物防疫事業	病害虫防除員の設置	直接	・市町村区域内で防除指導を行う病害虫防除員の設置	・「病害虫防除所の設置及び病害虫防除員の設置区域に関する条例」に基づき、市町村区域内で防除指導等を行う病害虫防除員（88名）の設置	計画通り ○	386	120	120		53
3	植物防疫事業	ミバエ等侵入警戒調査	直接	・チチュウカイミバエ等の侵入警戒調査	・「チチュウカイミバエ、コリンガ」、火傷病、スイカ果実汚斑病、ブラムボックスウイルスの侵入警戒調査（478回）	計画通り ○	253	750	750		640
3	植物防疫事業	農薬登録拡大推進事業補助金	補助金	・本県が重点的に実施する農薬登録に係る試験の調整業務を行う県植物防疫協会に対して補助	・本県が重点的に実施する農薬登録に係る試験の調整業務を行う県植物防疫協会に対して補助	計画通り ○	1,800	1,700	1,700		1,700
3	植物防疫事業	輸出植物検疫協議の迅速化事業	直接	・農産物輸出相手国との検疫協議を迅速に進めるため、病害虫発生状況を調査する	・病害虫発生状況の把握（11種類）	計画通り ○	1,200	1,200	1,200		1,200
3	植物防疫事業	病害虫防除所運営費	直接	・病害虫防除所の設置及び業務の運営	・病害虫防除所の設置及び業務の運営	計画通り ○	4,533	4,534	4,534		4,605
3	植物防疫事業	テンサイシストセンチュウ防除対策事業	直接	・テンサイシストセンチュウの防除対策を実施する	・テンサイシストセンチュウの土壌くん蒸剤による防除（37.2ha、120ほ場） ・防除に協力した農業者への協力金交付（48人、34.9ha）	計画通り ○	0	28,500	150,000		185,039
4	農薬安全使用対策事業	農薬危害防止対策事業	直接	・農薬の適正使用の推進	・農業被害防止運動の実施（2回） ・農業安全使用推進大会の開催（4会場） ・農業販売者、使用者の取締職員の設置（67名） ・農業管理指導士養成のための研修会の開催（養成研修会1会場、更新研修会2会場）	計画通り ○	2,150	596	596		732
4	農薬安全使用対策事業	農薬リスク低減対策推進事業	直接	・農薬の適正使用の推進登録拡大	・農薬の適正使用の推進登録拡大（試験実施5剤）	計画通り ○	1,290	1,204	1,204		1,055
4	農薬安全使用対策事業	埋設農薬処理対策事業	補助金	・環境モニタリング調査の実施	・環境モニタリング調査の実施（上田市）	計画通り ○	250	250	250		202
合 計							72,120	136,322	245,723	-32,715	242,313